

熊野修験奥駈行の事前荷揚げと大型連休後の行仙宿総点検

◇実施日 5月15日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、梶野照雄、湯川一郎 3名

大型連休も終わり、その後の小屋の状態も気になるので近々訪問を予定していたところ、2日前に高木亮英氏が訪ねて来られ、第3回春峰(行仙宿泊)への協力依頼があった。また、当日の熊野修験サポート隊から事前荷揚げ品の段ボール箱が3個届けられたので、この日3人で行仙宿に向かった。3個の段ボール箱以外にもガソリン缶やトイレトペーパーなどがあり、3人で分担して小屋に運んだ。



モノレールで登る



今日の荷揚げ品



行仙宿に着く

14日にR169の川上村で崩土があり通行ができなくなった。そのため梶野君は新宮まで来て、新宮から行仙宿に向かった。九重小学校跡に梶野車を置いて沖崎車一台で行仙宿に到着、小屋内外を見回るが異常は見当たらない。小屋、お堂、管理棟の窓を開けて風を通す。梶野君は倉庫の照明にタイマーを設置、その間に沖崎、湯川の2名で水汲みに向かった。17リッターを汲み上げて小屋に置いた。



水場へ向かう

倉庫に照明増設とタイマーを設置

昼食時、梶野君がストーブを覗くとまた水が溜まっている。火消しに水をかけたのとは違うようだ。ストーブの足が濡れているのと、底付近から水滴が落ちたのを湯川君が見つけたので、煙突の外周を雨が伝わり落ちているようだ。前回水が溜まっていたのが雨の翌日、今回も昨日は雨が降っていた。早急に処置が必要だ。5月20日に三井寺の接待で行仙宿に来るので、その日に応急処置をして、その後、本格修理を終えたいと思う。

例年行われている「奥駆トレイルラン」(吉野↓本宮、一泊二日)が今年も行われ、7人が参加して、6人が行仙宿を通過した。早い人3人は我々が行仙宿に着く前に通過し、行仙宿に着くと一人が水場入り口のテーブルで休んでいた。30分ほどして2名が通過、その後は通過が確認できなかった。トレランの主催者は京都から氣勢道経由で、小仲坊の五鬼助さんも氣勢道廻りで5時間ほどかけてきたそうだ。



本日の参加者

小石を集めて補給路に撒く

21番鉄塔付近で小石を採取し、布袋に詰めて2袋ずつ、計6袋を補給路の改修場所に敷いた。  
(記：沖崎)

## 行動タイム

09：00 補給路登山口→09：55 行仙宿 13：10→13：26 補給路補修箇所  
13：31→13：48 補給路登山口